

弘前大学は10日、国の採択を受けて今年度から取り組んでいる研究支援事業「COI-NEXT」のキックオフイベントとして「弘前大学COIネクスト ウェルビーイング イノベーション Summit 2023」を弘前市のアートホテル弘前シティで開いた。研究事業に参画する各地の大学のほか食品開発

やヘルスケアなどの企業が参集し、COIネクストが目指す健康を軸にした地域経済の発展と若者の健康意識向上に向けた研究内容や技術開発について説明。パネルディスカッションも行われ、若者にどう働き掛けるかをテーマに意見を交わした。

(石田紅子)

# 弘大COIネクストサミット 若者の健康意識向上へ



## 大学や企業や 研究説明や意見交換

会場、オンラインの両方で国内外の約2200人が参加した。

弘前大COIネクストは、岩木健康増進プロジェクトで知られる弘前大COIの研究成果を基にした発展型の研究事業。①健康を軸にした地域経済の発展②「短命県返上」を達成するには若い頃の意識付けが大切だとして、若年層を中心にした全世代へのアプローチで健康に働き続けられる地域社会の実現に向けて取り組んでいく。国の支援期間は最長10年。

パネルディスカッションでは、副プロジェクトリーダー(PL)の廣田和美弘前大大学院医学研究科長が「地域の健康を保つために若者へどうアプローチするか意見を交わしたパネルディスカッション」

は未病のうちに直すという医師の意識改革が必要。医学生にも伝えていきたい」とし、副PLでデータ分析などで参画するDESCへ

村下公一拠点長は「経済が

絡むことでさまざまな動機付けとなって持続的に動いていく。ヘルスケア分野で挑戦したい企業は弘前に集まってほしい」と呼び掛けた。